

令和7年度長野県公立高等学校入学者選抜における実施内容（予定）

- （表の見方）
- 「募集」欄は令和6年度(2024年度)入学者選抜の募集学級数です。令和7年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
 - 前期選抜の募集枠%の数字は募集人員の上限を表しています。
 - 第2志望欄の○印がついている学科間においては第2志望（学校により第3志望まで）を認めます。
 - 傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
 - 再募集欄は前期選抜及び後期選抜において、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
 - ｝はくくり募集をする学科です。
 - 〕はまとめて募集する学科ですが、出願は各学科にします。ただし、1学科の入学者数の上限は40名とします。
 - 空欄になっている箇所については実施しません。
 - 前期選抜及び後期選抜では学力検査を実施します。
 - 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
 - 再募集の志願理由書から実技検査欄については、後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。

1 長野県長野高等学校（全日制課程）

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）						後期選抜（一般選抜）						再募集					
				募集枠％	募集の観点	志願理由書	面接	作文（小論文）	実技検査	志願理由書	面接方法	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第2志望	志願理由書	面接	作文	実技検査	傾斜配点
14	長野	普通	7								紙上						〈個人面接〉 志望動機、入学後の抱負、将来の希望、中学校生活等について10分程度個人面接を行う。				

2 長野県長野高等学校（定時制課程）

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）					後期選抜（一般選抜）							再募集					
				募集枠％	募集の観点	志願理由書	面接	作文（小論文）	実技検査	志願理由書	面接方法	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第2志望	志願理由書	面接	作文	実技検査	傾斜配点
14	長野	普通	1	50	規範意識が身についており、本校の指導方針・目標を理解し、その方針に従い次のいずれの項目についても努力することができる者。 ①高い学習意欲を持ち、毎日の授業を大切に、自ら進んで課題に取り組むことができる。 ②進路について明確な目標を持ち、その実現のために努力できる。 ③あいさつや時間の厳守など、学校生活上の基本的ルールが守れる。 ④学校や職場において良好な人間関係を築き、社会性を身につけるよう努力できる。	本校への志望動機や将来の抱負等について記入する。	<個人面接10分程度>志願理由書に記入した内容等について質問する。			本校への志望動機や将来の抱負等について記入する。	対面	<個人面接10分程度>志願理由書に記入した内容等について質問する。				○	○	《作文》 （時間） 40分 （字数） 400字程度 （内容） 当日課題を出題			

令和7年度長野県公立高等学校前期選抜における評価方法（予定）

- （表の見方）
- 「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
 - 「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。評価点を示したのではなく、合計して合否を判定するわけではありません。また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
 - 「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
 - 「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
 - 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。

2 長野県長野高等学校（定時制課程）

番号	高校名	学科	観点別	評価方法	調査書	面接	学力検査	作文(小論文)	実技検査	備考
14	長野	普通		比重	30	50	20	-	-	
				項目等	調査書の内容を総合的に評価する。	志望動機 学習意欲 将来の希望 態度 協調性				